

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	電撃殺虫器			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	OBK-04S(B) OBK-06S(B)	品番	07-4748 07-4749	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前 様			
	★ご住所 〒 一			電話 ()
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735
電話 受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00
	日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話 受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00
	土・日・祝日及び年末年始は除きます



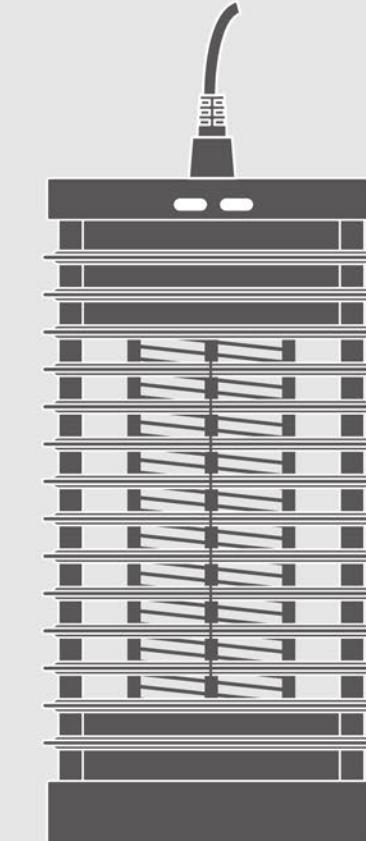
保管用

取扱説明書 保証書付

電撃殺虫器

OBK-04S(B)／OBK-06S(B)

この度は、当商品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。また、保証書として大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1
各部の名称	2
設置方法	2
ご使用方法	3
お手入れ方法	3
誘虫灯交換方法	4
グロー球の交換方法	5
故障かな?と思ったら	6
製品仕様	6
保証書	

安全上のご注意 必ずお守りください

■人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

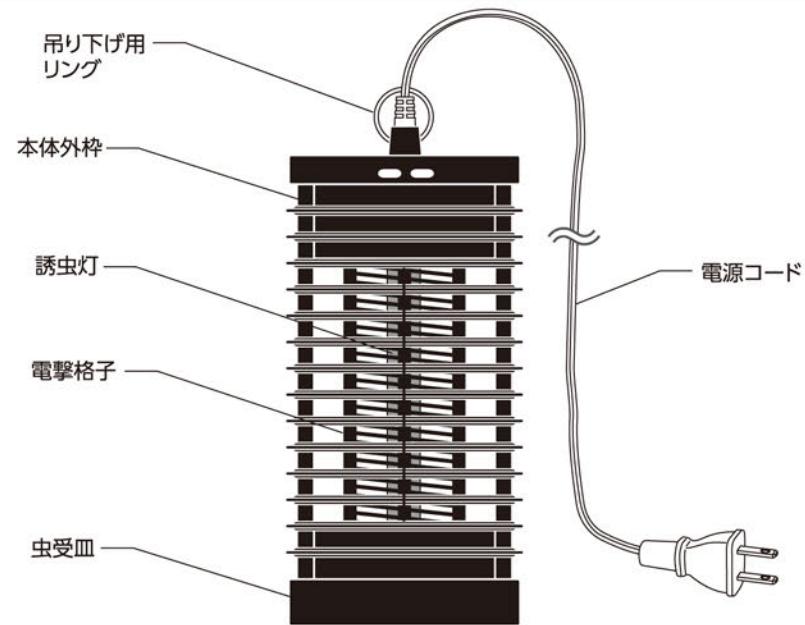
!**警告**

	<ul style="list-style-type: none"> 必ず乳幼児の手の届かない場所に使用及び設置してください。 本体外枠は虫類が通過できるように必要な隙間を取っているため、乳幼児の指が通り、電撃格子に触れると、感電やけがを負う、重大事故の原因となります。 本品や周囲で可燃性ガスを含む殺虫剤やスプレーなどは使用しないでください。 電気火花で可燃性ガスに引火して、爆発、火災、やけどなど重大事故の原因となります。 外枠が破損した場合は直ちに使用を中止してください。 感電するおそれがあります。 本体の内部に異物を入れないでください。 感電や故障の原因となります。 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。 故障や火災の原因となります。 (傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしないでください。) コンセントの定格を越える使い方をしないでください。 たこ足配線で定格を越えると、発熱による火災の原因になります。 不安定な場所や、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。 落下して、火災・けがのおそれがあります。
--	---

!**注意**

	<ul style="list-style-type: none"> 温氣の高い場所や屋外で使用しないでください。 本品は防水仕様ではありません。水のかかる場所や高温、多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> 電撃殺虫用途以外には使用しないでください。 感電や故障の原因となります。 本品に衝撃を与えないでください。 破損や故障の原因となります。 電源は交流100V以外では使用しないでください。 故障、発火の原因となります。 誘虫灯を長時間直視しないでください。 目に悪影響をおよぼすおそれがあります。 温度の高くなるものを器具の近くに置かないでください。 火災の原因になることがあります。 湿気やほこり、油煙の多い場所では使用しないでください。 火災・感電の原因になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> お手入れの際は、電源プラグを抜いてください。 通電状態で行うと感電の原因になることがあります。 使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 旅行などで長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部の名称



設置方法(屋内専用)

①吊り下げて設置する場合、本体付属の吊り下げ用チェーンを使用し、本体重量に耐える強度の場所に、落下しないよう確実に設置してください。

本体重量 07-4748は約1.1kg
07-4749は約1.6kg



警告

必ず乳幼児の手の届かない場所に使用及び設置してください。

本体外枠は虫類が通過できるように必要な隙間を取っているため、乳幼児の指が通り、電撃格子に触れると、感電やけがを負う、重大事故の原因となります。

ご使用方法

- ①安定な場所に確実に設置した後、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ②グロー球は点滅し、約2~3秒後に誘虫灯が点灯します。(電圧の低いところでは約5~6秒かかる場合もあります。)
- ③誘虫灯の光におびき寄せられた虫を高電圧で電撃殺虫します。(薬剤は一切使用しません。)



誘虫灯に誘引されない虫もあります。

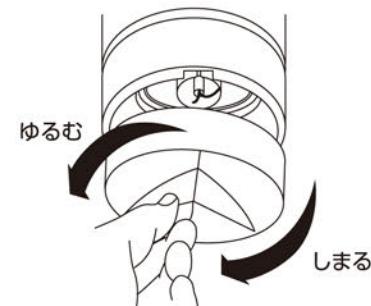
お手入れ方法

■虫受け皿の掃除

虫の死骸は、本体底面の虫受け皿に集められるので、こまめに掃除してください。

虫受け皿を外す方法

- ①本体底面の虫受け皿を左回転させて外し、掃除してください。
- ②汚れた時は乾拭きするか、中性洗剤を含ませた布で拭いてください。
- ③掃除が終わりましたら、虫受け皿を本体底部の取付溝に入れ、右回転で止まる位置まで回してください。



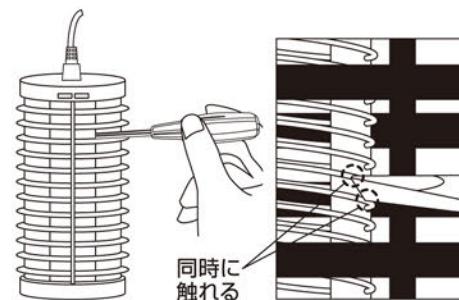
■電撃格子に残った虫の死骸処理

- ①必ず本体の電源を切ってください。(電源プラグをコンセントから抜いてください。)
- ②電撃格子の帯電を除去します。(下記の「電撃格子の帯電除去方法」をご参照ください。)
- ③付属のブラシで虫の死骸を取り除いてください。(虫が付着しますと電撃殺虫器の性能が低下する場合があります。)
- ※付属ブラシ以外では行わないでください。(電撃格子の変形や感電する場合があります。)

電撃格子の帯電除去方法

(電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認してください。)

- ①絶縁ドライバーを使用し、電撃格子任意の2線間に同時に触れて、ショートさせます。(電撃格子をショートさせないと帯電除去の効果がありません。)
- ②パチパチッと電気火花を出させ、電撃格子の帯電を除去してください。(電源が切れた状態で長時間使用していない場合は電気火花が生じない場合があります。)



電源プラグを抜いた後も電撃格子間には高電圧が帯電しています。お手入れする前に、必ず「電撃格子の帯電除去方法」を参考にして、帯電除去を実施してください。(感電のおそれがあります。) 電撃格子の帯電除去時には必ず持ち手(グリップ)と先端(金属部)が絶縁された絶縁ドライバーを使用してください。(持ち手が一体になった金属製ドライバーを使用すると感電する危険があります。)

誘虫灯交換方法

■誘虫灯の寿命

本体付属の誘虫灯定格寿命は約3000時間ですが、誘虫紫外線の発生量は点灯時間の経過により、徐々に低下します。(3000時間で約60%に低下します。誘虫効果を保つために、シーズンごとの交換をお勧めします。) 使用時に誘虫灯の端部が黒くなったりした場合は、誘虫灯が寿命末期と考えられますので、早めに交換してください。交換用誘虫灯は07-4748の場合はFL4BL(当社品番04-6660)、07-4749の場合はFL6BL(当社品番04-6698)をご使用ください。

誘虫灯の交換方法と手順(作業用滑り止め手袋を着用)

- ①電源プラグをコンセントから抜き、必ず絶縁ドライバーで電撃格子の帯電を除去してください。
- ※「電撃格子の帯電除去方法」(3ページ)をご参照ください。

- ⑥誘虫灯の片側が確認できますので、ゆっくりと誘虫灯を引き抜いてください。



- ②本体底面の虫受け皿を左回転させて、外します。



- ③底部の白いソケットの溝に固定してある白い電線を緩めます。

ネジ2か所



- ⑤外側に向かって、白いソケットを引き抜きます。



お客様ご自身での交換が困難な場合は、弊社お客様相談室までご連絡ください。



電源プラグを抜いた後も電撃格子間には高電圧が帯電しています。お手入れする前に、必ず「電撃格子の帯電除去方法」を参考にして、帯電除去を実施してください。(感電のおそれがあります。) 電撃格子の帯電除去時には必ず持ち手(グリップ)と先端(金属部)が絶縁された絶縁ドライバーを使用してください。(持ち手が一体になった金属製ドライバーを使用すると感電する危険があります。)



誘虫灯交換時に電撃格子を变形させないように十分注意してください。变形した場合は格子間の間隔が均一になるよう修正してください。(異常放電や捕虫効果の低下や故障の原因となります。) 誘虫灯はガラス製品です。取扱時に破損しないよう十分注意してください。(破損するだけの原因となります。)

グロー球の交換方法

■グロー球の寿命

本体付属のグロー球の定格寿命は約5000回になります。

誘虫灯が点灯するまで時間が長くなった場合や新しい誘虫灯を交換しても点灯しない場合は、グロー球の寿命と考えられますので、新しいグロー球に交換してください。

交換用グロー球はFG-7P（当社品番04-1462）をご使用ください。

グロー球の交換方法と手順

（作業用滑り止め手袋を着用）

①電源プラグをコンセントから抜き、絶縁ドライバーで電撃格子の帯電を除去してください。

※「電撃格子の帯電除去方法」をご参照ください。



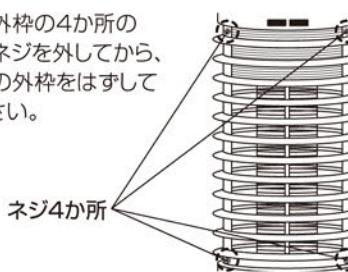
②本体底面の虫受け皿を左回転させて、外します。

③本体上部にある吊り下げ用リングを外します。

注意

リングを外す時には過大な力を掛けて変形しないよう十分注意してください。変形してしまった場合は、修正してください。（変形した状態では、本体に十分固定できず、落下の原因となりますので、取付後に引っ張って外れないことを確認してください。）

④本体外枠の4か所の固定ネジを外してから、片側の外枠をはずしてください。



⑤電撃格子の上部にあるグローランプソケットからグロー球を少し左回転させて外します。



⑥片側の外枠を外してから、グロー球が確認できない場合は、外した外枠を戻してから、本体を回転させて反対側の外枠を外してください。新しいグロー球を差し込み、右方向に止まるまで回して、グロー球を固定します。



⑦グロー球の交換が終わりましたら、外した外枠を正しい位置に戻します。



⑧電撃格子、上部電源コードを確実に外枠に入れましたら、もう片側の外枠を戻します。

⑨両側の外枠が段差などがなく、正しく戻されたことを確認してから、4か所の固定ネジで外枠を固定します。

⑩吊り下げ用リングを戻します。（外す方法と逆手順）

⑪本体底面の虫受け皿を戻し、交換作業は完了です。

お客様ご自身での交換が困難な場合は、弊社お客様相談室までご連絡ください。

警告

電源プラグを抜いた後も電撃格子間に高電圧が帯電しています。グロー球を交換する前には、必ず「電撃格子の帯電除去方法」を参考にして、帯電除去を実施してください。（感電のおそれがあります。）電撃格子の帯電除去時には必ず持ち手（グリップ）と先端（金属部）が絶縁された絶縁ドライバーを使用してください。（持ち手が一体になった金属製ドライバーを使用すると感電する危険があります。）

注意

リングを戻した時に変形による歪みが生じていないかを、引っ張って外れないことを確認してください。変形してしまった場合は、修正してください。（変形した状態では本体に十分に固定できず、落下の原因となります。）グロー球交換時に電撃格子を変形させないよう十分注意してください。変形した場合は格子間の間隔が均一になるよう修正してください。（異常放電や、捕虫効果の低下や、故障の原因となります。）

故障かな?と思ったら

■修理を依頼される前に下記の項目をご確認下さい。

症 状	ご確認内容	処置方法
誘虫灯が点灯しない。	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	●コンセントに電気が来ていますか？	●他の電気製品を使用して確認してください。
	●誘虫灯がソケットに確実に取付けてありますか？	●誘虫灯をソケットに確実に取付けてください。
	●誘虫灯の寿命ではありませんか？ 誘虫灯の両端が黒くなっていますか？	●誘虫灯管を交換してください。 ※シーズン前に誘虫灯管の交換をお薦めします。
誘虫灯は点灯しているのに殺虫しない。	●周囲の照明が明るすぎるのではないか？	●本器より明るい照明器具が周囲にあると虫が集まりにくくなるので、他の照明を暗くしてください。
	●虫の死骸が溜まっていますか？	●電撃格子と受皿の掃除をしてください。
	●一匹も殺虫しない。 「電撃格子の帯電除去方法」にて電気火花が出るか確認をしても電気火花が出ない場合	●高圧が発生していないことが考えられます。ご購入店または弊社までご連絡ください。

警告

清掃や点検の際は、感電防止のため電源プラグを抜いてください。
お手入れの前には、必ず絶縁ドライバーで電撃格子の帯電を除去してください。

上記の処置を行っても復帰しない場合は、お買い求め店または弊社までご連絡ください。

製品仕様

型 番	OBK-04S(B)	OBK-06S(B)
電 源	AC100V 50/60Hz	AC100V 50/60Hz
格 子 電 壓	900V 2.5mA	1,900V 2.85mA
消 費 電 力	約4.5W	約6W
使 用 グ ロ ー 球	FG-7P(当社品番:04-1462)	FG-7P(当社品番:04-1462)
使 用 誘 虫 灯	4W(FL4BL)(当社品番:04-6660)	6W(FL6BL)(当社品番:04-6698)
本 体 尺 法	φ約135×高さ(最大)約300 mm	φ約160×高さ(最大)約360 mm
コ ー ド 長	約1.5m	約1.5m
質 量	約1.1kg	約1.6kg

※屋内専用